

## 職員研修

問 役場職員としてより高度な技術や教養を修得するため、職員研修は積極的に行う必要があると思うが職員の研修状況は。また、個人的に研修参加を希望した場合の対応は。

答 専門職としての知識を得るため、年間計画に基づいて自治専門校で幅広い研修を実施している。

今年度も9種類の研修に13名の職員が参加する。また、行政組合や山武支庁の主催する研修もあり、7種類に25名を予定している。このほか町独自の研修も実施しており、今年度は監督者の職務について係長以上の管理者を対象に行う。個人希望の研修は、各課の計

画により研修内容や業務体制を検討した上で判断している。

## 備品購入の対応

問 町で備品などを購入するとき、納入業者指定後に他の業者の見積書を求めているようだが、どのように指導対応しているのか。

答 物品等の購入に関しても、工事等と同様、より良い品質のものを安く購入することが原則であり、2社以上のものの競争により、町にとって有利な条件を提示したものを契約の相手方として決定している。この質問のようなことは考えられないが、そのようなことがあれば厳重に注意し、今後は適切に対応するよう指導する。

## 平成4年度山武郡市広域行政組合 一般会計決算報告

山武郡市広域行政組合（山武郡市1市7町1村で組織され、共同で火葬やし尿処理等の事業を行う）の平成4年度の一般会計決算状況は、収入総額31億5,706万6千円、支出総額は30億3,214万9千円で、前年度より収入は8.7%の増、支出も8.7%の増となっています。

収入	31億5,706万6千円
分担金及び負担金	18億1,189万9千円
使用料及び手数料	7億1,275万9千円
国・県支出金	8,369万円
その他	5億4,871万8千円
支出	30億3,214万9千円
消防費	14億6,138万4千円
清掃費	7億7,404万9千円
総務費	3億1,839万3千円
その他	4億7,832万3千円



## 避難訓練に 2000人が参加



14回目を迎えた町防災訓練が、9月5日の日曜日に町内全域を対象として行

われました。今回の参加者は2000人。訓練は、大地震あと、火災や津波そして崖崩れなどの災害が発生したという想定で行われました。主会場となった海の子どもの国と栗山南部1集会所では、避難訓練終了後、消火訓練や緊急時の担架の作り方が行われ、参加したみなさんは熱心に取り組んでいました。

災害はいつ起こるかわからないもの。例えば、通勤をしているときや職場にいるとき、家にいるとき。そのため、さまざまな状況に対応できるよう普段から備え、また家族ぐるみで防災対策について話し合っておきましょう。



## わずかな費用で大きな安心 防災行政無線に加入しましょう!

町では、台風や地震などの災害時に的確な情報をより迅速に伝達し、みなさんの生命・財産をその危険から守ることを最大の目的として、防災行政無線設置事業を行っています。また、災害状況をはじめ、町の各種行事や各学校保育所の連絡事項を伝えていきます。

無線機の設置費用は約4万円程度かかりますが、そのほとん

どを町が負担しますので、設置するみなさんは5千円納めていただくこととなります。

大半の方が設置済みですが、わずかな費用で安全で便利な生活を送るために未加入の方の設置をおすすめします。

くわしいことは、役場総務課（☎内線218）へお問い合わせください。